

平成28年度 西東京市立谷戸小学校 学校自己評価表

学校教育目標	・元気で、粘り強い子 ・進んで学び、行動する子 ・心の豊かな子
目指す学校像（ビジョン） 【目指す学校像】 【目指す児童像】 【目指す教師像】	・子供の瞳が輝き、声が響き合う、幸せ追求の学校 ・将来を夢見て、よく考え、主体的に共同する健康な児童 ・創意工夫に満ちた授業の充実に努め、子供の心に灯をともしことのできる人間力ある教師
本校の実態と課題 ①若手教員が多数おり、児童理解とともに、学級経営や授業技術など教員の指導力の向上に取り組む。 ②児童の体力の向上は見られるものの、体力の2極化傾向がある。生活振り返り週間では、自己の生活を見直すきっかけになっている。保護者の協力を得て、自ら健康的な生活に向けて改善できるように健康教育や体力の向上に取り組む。 ③全学級に特別支援が必要な児童がいる。児童一人一人を大切にした授業を実施するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを交えて個に応じた対応をする。 ④保護者・地域は大変協力的である。ホームページ等学校の情報を積極的に発信し、保護者・地域との連携を進め、開かれた学校を推進する。	

平成28年度 西東京市立谷戸小学校 学校自己評価表

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力指標(評価基準)		職員評価	成果指標(評価基準)		職員評価	現 況	委員評価と改善策				
学 力 の 向 上	基礎基本の定着とともに、分かる授業・質の高い授業の実現に努める。	基礎・基本の定着を図り、自ら学ぶ力を育てる。	・全員が考えをもち、考えを伝え合う話し合いや発表する場を全学級で設定する。	4	教職員の取組評価がA	3	4	児童の達成度の評価A	3	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の中で、ペア学習やグループ学習を取り入れて発表の機会を増やし、学習内容の共有化を進めた。	3	「聞いて理解すること」ができていない児童がいると感じることも多い。聞く力をつける指導もして欲しい。また、自分の考えをもち、それを伝え合うことで理解を深めるような授業を行っていく。			
				3	教職員の取組評価がB		3	児童の達成度の評価B							
				2	教職員の取組評価がC		2	児童の達成度の評価C							
				1	教職員の取組評価がD		1	児童の達成度の評価D							
			・読書週間、朝読書、読み聞かせ等を活用して、各自が年間目標以上の本を読めるようにする。	4	年間60冊以上	4	4	児童の自己評価で、達成度90%以上	3	2月末の一人あたりの貸し出し実績は66冊でした。各学級での指導の他、谷戸小の読書教育指導として、毎年工夫した取組も実践している。	4	「おすすめの本」の紹介を、掲示ではなく発表で行うと更に興味が広がると思う。読み聞かせも子供同士で行うのが刺激になるのではないかな。また、保護者が読書をすれば子供も読むようになるので、ぜひ読んでもらいたい。			
				3	年間50冊以上		3	児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満							
				2	年間40冊以上		2	児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満							
				1	年間40冊未満		1	児童の自己評価で、達成度70%未満							
			・全員が各学年で学ぶ漢字の読み書きができるようにする。	4	教職員の取組評価がA	4	4	診断テストで、80%以上が90点以上	3	毎週火曜日の朝学習で漢字練習を行っている。繰り返し行うことで定着が図れると考える。都学力調査の言語では90%近い児童が正答した。	4	漢字等の基礎学力はとても大切なので、基本的なことは小学生のうちに覚えるようにする。そのために、朝学習や家庭学習の取組と共に、家庭学習にも力を入れるようにする。			
				3	教職員の取組評価がB		3	診断テストで、70%～79%が90点以上							
				2	教職員の取組評価がC		2	診断テストで、60%～69%が90点以上							
				1	教職員の取組評価がD		1	診断テストで、60%未満が90点以上							
			・全員がベーシックドリルを活用して、計算を中心とした基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけるようにする。	4	教職員の取組評価がA	3	4	診断テストで、80%以上が90点以上	3	2、3年生は1学年前、4年生以上は2学年前のベーシックドリルを活用し、計算技能を確実にしている。都学力調査では都の平均を5ポイントも上回っている。	3	基礎となる計算も、覚えるべき時期に確実に身に付けるようにさせたい。ベーシックドリルなどを活用して定着の度合いを確認すると共に、朝学習、放課後の補習、家庭学習を充実させるとよい。			
				3	教職員の取組評価がB		3	診断テストで、70%～79%が90点以上							
				2	教職員の取組評価がC		2	診断テストで、60%～69%が90点以上							
				1	教職員の取組評価がD		1	診断テストで、60%未満が90点以上							
人 権 教 育	人権教育を充実させ、いじめや体罰の根絶に努める。	人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。	・日常からのあいさつ、感謝の言葉、言葉遣いを継続的に指導し、豊かな人間関係を作る。	4	教職員の取組評価がA	3	4	児童の達成度の評価A	3	素直な児童が多く、挨拶をするり返すことができるが自分から挨拶をする習慣がついていない児童も多い。今年度は挨拶ロードなどの取組も行った。	4	地域の方々に対して自分から挨拶をする児童が多い。7月の挨拶運動では、PTAや育成会も協力しているので、地域全体で挨拶の習慣化に向けて取り組んでいきたい。			
				3	教職員の取組評価がB		3	児童の達成度の評価B							
				2	教職員の取組評価がC		2	児童の達成度の評価C							
				1	教職員の取組評価がD		1	児童の達成度の評価D							
			・いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、学級力を子供と共に振り返りながら、安心した学校生活を送れるようにする。	4	教職員の取組評価がA	4	4	児童の満足度の評価A	3	毎学期のいじめ防止の授業と生活アンケート、SCIによる4、5年生との全員面接に加え、今年度、高学年はSNSの使い方についても指導を行った。	3	谷戸小学校いじめ防止基本方針に従い、未然防止、早期発見、早期解決ができるよう、教職員と保護者、地域が協力して、全児童を見守っていく。			
				3	教職員の取組評価がB		3	児童の満足度の評価B							
				2	教職員の取組評価がC		2	児童の満足度の評価C							
				1	教職員の取組評価がD		1	児童の満足度の評価D							
			・元気いっぱいカード等の取組を年4回以上設定し、睡眠時間・朝ご飯・歯磨き・排便等、基本的な生活習慣の改善を図る。	4	全学年全学級で実施	3	4	児童の達成度の評価A	3	運動会の前や、長期休業が空ける5日前からなど生活習慣が崩れる時期に元気いっぱいカードの取組を行い、家庭と連携した生活の安定に努めている。	3	非行に走る児童の多くは、食生活が満たされていない。まずは生活習慣をしっかりと整えることが大切である。カードの取組もマンネリ化しないような工夫が必要である。			
				3	実施率80パーセント以上		3	児童の達成度の評価B							
				2	実施率60パーセント以上		2	児童の達成度の評価C							
				1	実施率60パーセント未満		1	児童の達成度の評価D							
			・食育の年間指導計画をもとに、各学年に応じた食育指導を推進する。	4	教職員の取組評価がA	3	4	保護者・児童の満足度の評価A	3	給食時の栄養士による講話は、児童にとって食に興味をもつ内容であり、その講話をもとに家庭でも食育に対する意識が向上した。	3	家庭の中でも、それぞれが好きなものをばらばらに食べたり、おやつでお腹をいっぱいにしたりしていると、心身の健康が損なわれる。今後も食育を充実させ、「食」に関する知識を付けさせたい。			
				3	教職員の取組評価がB		3	保護者・児童の満足度の評価B							
				2	教職員の取組評価がC		2	保護者・児童の満足度の評価C							
				1	教職員の取組評価がD		1	保護者・児童の満足度の評価D							
体 力 の 向 上	丈夫な体とたくましい心を育てる。	健康教育を推進する。	・体力テストの結果から、重点項目を定め、汗をかく準備運動とともに楽しい体育の授業を展開し、児童の体力向上を図る。	4	教職員の取組評価がA	3	4	児童の自己評価で、達成度90%以上	3	汗をかく準備運動の推進のため、ランニング(周回走)・鬼ごっこ等、走る運動を日常化した。	3	ボールを投げる運動などは、地域の公園ではできないことが多い。体育学習や休み時間で様々な運動ができるように工夫していってほしい。			
				3	教職員の取組評価がB		3	児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満							
				2	教職員の取組評価がC		2	児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満							
				1	教職員の取組評価がD		1	児童の自己評価で、達成度70%未満							
			・学期ごとにジャンプアップ等を設定するとともに、外遊びを日常的に行わせ、児童の体力向上を図る。	4	教職員の取組評価がA	3	4	児童の自己評価で、達成度90%以上	3	ジャンプアップの期間は全員が外に出る機会となり、外遊びの日常化につながった。今年度も冬芝養生期間中に長縄ジャンプアップを採用し、屋上も使って実施した。	4	屋上など、場所を工夫して体を動かす取組をしている。今は体力を使うような環境がないことも多いので、学校で行っているのはよい。芝生なのに表彰されたことは素晴らしい。			
				3	教職員の取組評価がB		3	児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満							
				2	教職員の取組評価がC		2	児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満							
				1	教職員の取組評価がD		1	児童の自己評価で、達成度70%未満							
			特 別 支 援 教 育	一人一人を大切に、特別支援教育を推進する。	特別支援教育の充実に努める。	・特別支援教室一部開設とユニバーサルデザインを意識した授業を進めていくことにより、児童一人一人を大切にした教育支援を推進する。	4	教職員の取組評価がA	3	4	保護者・児童の満足度の評価A	3	研究報告会、通級教員との連携、通級学級教員による研修会、特別支援教育の視点を取り入れた毎日の授業作りと校内研究等、今年度も充実した実践ができた。	4	保護者会での説明、学校公開日の保護者相談など、様々な機会を捉えて理解を図っていた。また学校も充実した指導ができるよう、研修を重ねていってほしい。
							3	教職員の取組評価がB		3	保護者・児童の満足度の評価B				
							2	教職員の取組評価がC		2	保護者・児童の満足度の評価C				
							1	教職員の取組評価がD		1	保護者・児童の満足度の評価D				
			地 域 と の 連 携	地域に開かれた学校づくりを行う。	安心・安全な学校づくりを行う。	・セーフティ教室(情報モラル・不審者からの危機回避・薬物乱用防止)、交通安全教育、避難訓練等防災教育の充実や教育環境の整備を保護者・地域とともに進めていく。	4	教職員の取組評価がA	3	4	保護者・地域の方の満足度の評価A	3	毎月の施設安全点検や児童への安全指導、生活指導上のルール等の徹底を大切にしている。地区委員さんとの通学路点検や地区班活動など保護者との連携も欠かせない。	3	情報モラルの徹底を図るため、家庭でもルールを決めていくのがよい。また地域全体で子供たちを守っていくという意識を高め、気になることがあればためらわずに声をかけていくようにする。
							3	教職員の取組評価がB		3	保護者・地域の方の満足度の評価B				
							2	教職員の取組評価がC		2	保護者・地域の方の満足度の評価C				
							1	教職員の取組評価がD		1	保護者・地域の方の満足度の評価D				
地域に積極的に貢献する。	地域・保護者等外部人材の教育力を積極的に活用する。また、地域行事に関わり、積極的に参画する。	・地域・保護者等外部人材の教育力を積極的に活用する。また、地域行事に関わり、積極的に参画する。			4	教職員の取組評価がA	3	4	保護者・地域の方の満足度の評価A	3	点字やけん玉体験、障害者スポーツ体験、視覚障害者との交流など学習活動の中で様々な方の協力を得た。合唱団は育成会の活動や地域の祭りなどにも積極的に参加した。	4	合唱団の活躍は素晴らしい。ひだまり谷戸での合唱は、参加者が大変喜んでいる。また地域の祭りに小学生スタッフとして参加している児童もいる。今後も地域のために多くの児童が活動していけるとよい。		
					3	教職員の取組評価がB		3	保護者・地域の方の満足度の評価B						
					2	教職員の取組評価がC		2	保護者・地域の方の満足度の評価C						
					1	教職員の取組評価がD		1	保護者・地域の方の満足度の評価D						
最新の学校教育情報を提供する。	最新の学校教育情報を提供する。	・学校メール・学校ホームページによる最新情報の発信及び、学校・学年・学級・専科・研究から通信を定期に発行する。			4	教職員の取組評価がA	3	4	保護者の満足度の評価A	3	ホームページ担当者を複数体制にしたことにより、年間で100回以上の更新を行うことができた。	4	学校での行事に限らず、PTA活動も載せている。給食については毎日の献立が載り、メニューの工夫が分かった。今後も学校の様子がわかるようにしていくとよい。		
					3	教職員の取組評価がB		3	保護者の満足度の評価B						
					2	教職員の取組評価がC		2	保護者の満足度の評価C						
					1	教職員の取組評価がD		1	保護者の満足度の評価D						